

3月発売

日本の知財史を「制度」ではなく「人」に焦点を当てる

現代知財選書『知財界人物列伝』

第1巻 “知財立国日本”の礎を築いた 荒井寿光

元特許庁長官・初代内閣官房知的財産戦略推進事務局長

『知財基本法』制定、『知財高裁』創設、日本初『知財推進計画』…その挑戦を描く

「科学技術基本法」はあっても、「知的財産基本法」はなかった
明治以来の「知財制度改革」はいかにして出来たのか？
国家戦略としての知財政策形成の実像を当事者視点で記録。

荒井寿光氏は、日本の知財制度を未整備の段階から国家戦略レベルへと押し上げ、「知財立国」を実現した中心人物であり、その歩みを通じて日本の産業と知財政策の発展を理解できる一冊です。一次資料・全著作リスト付属

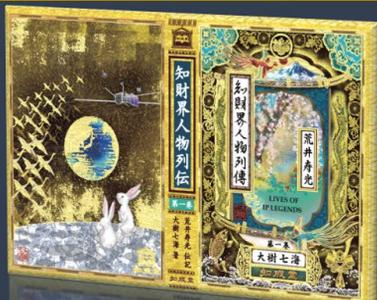
<本書の構成>

- 荒井氏の人生を軸に、日本の産業経済と知財政策の発展経緯を追体験できる。
- 一人称の臨場感と背景解説により、現在の知財界に至るまでの流れを理解できる。
- 法律草案や思考過程、国家目標としての課題リストなどを参考資料として収録し、読者自身が「自分ならどう立案するか」「どの分野で貢献できるか」思料を提供する。

<本書から得られる価値>

- 知財政策の歴史と構造を深く理解できる。
- 課題解決力を高め、自身のキャリアの方向性を明確にする助けとなる。
- 国家戦略レベルの思考に触れ、知財を軸に社会へどう関わるか考える視点を得る。

『知財界人物列伝』▶
について



特装版(上製本)【初回限定】
定価10,000円+税 税込11,000円
通常版(並製本)
定価6,300円+税 税込6,930円

◀ 装丁画(イメージ図)
左:装丁カバー(越前和紙
「鳥の子」+特殊金印刷)
下:本体(芸術金紙製本)



偉業を讃える威厳と風格を備えた装丁

初回特装版【限定数】は、構想制作5年に及ぶ大樹七海氏による特別装丁。
装画は日本文化を継承しうる独創的な日本美を追求。「国宝」をイメージした「宝物の本」。
通常版は並製本・通常印刷。特装版は、越前和紙「鳥の子」に金箔表現の特殊印刷を施したカバーを付し、本体は幽玄な特殊金紙に「知的財産権の紋章」が描かれた上製本。日本と世界の美意識の融合<普遍的な美しい本>。

大樹七海 著・装画装丁 (雅号, 芸術・科学・知財クリエイター, 弁理士, 知成堂創設者)
『世界の知的財産権』著・装丁 (第21回本作り大賞優秀賞受賞), 「発明事業列伝」連載中 (発明推進協会) 他



発行：株式会社知成堂 知的財産専門の出版社

TEL:03-4400-3423
FAX:03-4400-3718

〒108-0075 東京都港区港南4丁目6番7号3605 詳しくはHP URL: <https://chiseidou.com> →



『知財界人物列伝』刊行に寄せて



- 目的 | 創意工夫の歴史の継承
- 政策史・科学技術史・事業史・文化史

詳細▶



『知財界人物列伝』第1巻 —その魅力について: 「知財国家百年の計」を考えるための必読書

◀詳細

- 学生の方へ（キャリアパス）
- 政治家・行政官の方へ（政策形成・公共精神）
- 企業の方へ（知財戦略・国際競争力）

『知財界人物列伝』の意味:日本の知財史を制度ではなく 「人」に焦点を当てて再構築する

- 「知財史としての個人史」の意味

詳細▶



ご協力をお願い

知財分野の一次資料が、媒体の分散・物価高・入手困難、さらに博物館やサイトの閉鎖、関係者の高齢化によって急速に失われつつあります。

そこで本シリーズは、存命中の実務家・発明家・クリエイターらから証言や資料を収集し、一級資料として体系的に保存・記録することで、知財史の基盤を未来へ残し、学術・産業・教育の発展に寄与することを目的としています。知成堂は版元として継続刊行を担うため、広く協力と支援を求めています。

【背景にある問題】

- 書籍・新聞・業界紙・社内報・放送・ウェブなど、知財関連資料が多様な媒体に分散し、調査負担が増大。
- 絶版・閉鎖・資料消滅が進み、アクセスが困難に。
- 関係者の高齢化により、一次情報が失われる速度が加速。

【本シリーズの使命】

- 存命中の実務家・法律家・事業家・発明家・クリエイターなどから、証言・資料を直接収集。収集した一次情報を「一級資料」として保存。
- 後世の学習資源として体系化し、知財史アーカイブを構築。

【目的 公共的価値を求めて】

- 知財分野の歴史的基盤を強化。
- 人材育成・文化振興に寄与。
- 日本の知的基盤の長期的な強化に貢献。

【ご協力をお願い】

- 知財専門出版社「知成堂」が版元として継続的に刊行。
- 調査・資料保存・編集のため、広範な協力と支援を求めています。